

授業科目	放射線医学（講義・演習，演習・実習）（放射線科診断専門医）（臨床専門医コース）		
取得する専門医の名称	日本医学放射線学会放射線科診断専門医		
区分・単位	講義・演習 2単位 演習・実習 4単位	関連分野等	消化器・腫瘍外科学、腫瘍・胸部外科学、泌尿器病態学、消化器・肝臓・感染症内科学、病理・病態学、産科・婦人科学など
年次・期別	1年次—2年次	曜日・時限	（講義・演習）月・水曜日：午前7時40分—8時30分 火・木曜日：午前8時—8時30分 水曜日：午後6時—7時30分 （演習・実習）月 - 金 終日
教室	放射線医学分野研究室、岡大病院放射線科カンファレンスルーム	担当者電話番号	086-235-7315（金澤 右）
担当教員	【研究科】教授：金澤 右，講師：三村秀文， 【病院】講師：佐藤修平、講師：奥村能啓、助教：郷原英夫、助教：加藤勝也、助教：平木隆夫		
一般目標	放射線診断学に関わる広い学識と高度の専門技能を取得し、放射線科診断専門医としての素養を養う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1、放射線診断ならびに医用放射線管理に関わる物理学、法令などを理解できる。 2、日本医学放射線学会の放射線科専門医ガイドラインに則って放射線診断学を修得し、それを理解し専門医試験に合格する能力を大学院終了までに獲得する。 3、インターベンショナルラジオロジー（画像ガイドの低浸襲治療）の意義と目的を理解し、手技の実践ができる。 4、放射線診断学の臨床研究を理解でき、自ら研究を施行し、大学院終了時までには博士論文が専門分野の外国雑誌に掲載あるいは受領される。 		
講義概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線診断学講義（講義・演習）（金澤，三村，佐藤，奥村，郷原，加藤，平木） 放射線診断ならびに医用放射線管理に関わる物理学、法令を学習する。 神経放射線学、胸部放射線学、腹部放射線学、泌尿器生殖器放射線学、骨関節放射線学、小児放射線学についてCT、MRI、超音波、単純X線写真を中心に学習する。 核医学についてその原理、応用などを学習する。 インターベンショナルラジオロジーについて血管系、非血管系にわけて原理などを学習する。 2) 画像診断レポートの作成（臨床実習）（演習・実習）（金澤，三村，佐藤，奥村，郷原，加藤，平木） 指導医の下で日本医学放射線学会放射線科診断専門医試験の受験資格に定められた症例数以上の画像診断を行いそのレポートを作成する。 3) インターベンショナルラジオロジーの施行（臨床実習）（演習・実習）（金澤，三村，郷原，平木） 指導医の下で日本医学放射線学会放射線科診断専門医試験の受験資格に定められた症例数以上のインターベンショナルラジオロジーを施行して手技を修得する。また、治療を施行した患者の管理を学ぶ。 4) 症例検討会（演習）（講義・演習）（金澤，三村，佐藤，奥村，郷原，加藤，平木） 分野内では毎週水曜日朝の全体症例検討会、毎週月曜日朝のインターベンショナルラジオロジー症例検討会、毎週火・木曜日朝のフィルムプレゼンテーションに参加して放射線診断学を学ぶ。また、病院内の各科横断型のカンファレンス（肝胆膵カンファレンス、胸部疾患カンファレンス、消化管カンファレンス、泌尿器放射線カンファレンス、乳腺カンファレンス、神経疾患カンファレンスなど）に参加して診療全体の中での放射線診断の位置づけを学ぶ。 5) 各種セミナー（演習）（講義・演習）（金澤，三村，佐藤，奥村，郷原，加藤，平木） 分野内では毎月行われるリサーチカンファレンスに参加し様々な研究の検証課程を学ぶ共に自らの臨床研究についても積極的に発表する。また、学会や専門医会などの主催する様々なセミナーに出席して放射線診断学の基礎から最先端の内容について学ぶ。 6) 学会参加（講義、演習） 日本医学放射線学会総会ならびに地方会に参加して、発表者の論理展開を理解する。また、自らも大学院終了時までには総会2回、地方会2回の発表を行う。日本医学放射線学会主催の放射線安全管理講習を最低1回は受講する。海外学会である北米放射線学会、ヨーロッパ放射線学会、米国核医学会、米国インターベンショナルラジオロジー学会、ヨーロッパインターベンショナルラジオロジー学会、 		

	米国磁気共鳴医学会の年次総会のいずれかに最低1回の参加と発表を行う。
テキスト・参考書等	専門書から論文まで多岐にわたるため、その都度指示する。また、インターネットを通じて自らが関連する文献を検索する。
成績評価基準 成績評価方法	1週間に3回、教授を交えて、放射線診断学に関する議論を展開する。その内容と、日頃の診療姿勢、セミナーに対する姿勢などから総合的に判断する。
研究活動との 関連	研究室では放射線診断学に関する臨床・研究を行っており、その延長上に、この授業科目が存在している。

基礎実習	未定。
臨床実習	画像診断では、画像をモニター読影してレポートを作成後、教官のチェックを受ける。 インターベンショナルラジオロジーでは教官と共に手技を行い、レポートを作成し教官のチェックを受ける。また、入院患者を受け持ち、患者の術前後のケアを行う。
症例検討会	入院患者の症例検討会は毎週水曜日午前7時40分から、中央診療棟放射線科カンファレンスルームにて。 インターベンショナルラジオロジー症例検討会は毎週月曜日午前7時40分からおよび毎週木曜日午後7時から、放射線科カンファレンスルームにて。
講義日程	各講義は火曜日と木曜日の午前8時～8時30分、放射線科カンファレンスルームで行う。 日程は未定。
本年度参加が 望ましい学会 等	4月16-19日 日本医学放射線学会総会（横浜） 6月12-13日 日本医学放射線学会 中四地方会（米子） 10月29-31日 日本医学放射線学会秋季臨床大会（和歌山） 11月29日-12月4日 北米放射線学会（シカゴ） 12月18-19日 日本医学放射線学会 中四地方会（高知） 会期末定 岡山血管造影・IVR症例検討会（岡山大学病院 西病棟11階カンファレンスルームC）